

協議会だより

DHA・EPA協議会

〒151-0062

東京都渋谷区元代々木町 32-7

一般財団法人日本水産油脂協会内

TEL & FAX: 03-3469-6931

URL: <http://www.dhaepa.org/>E-mail: dha_epa@par.odn.ne.jp

マルハニチロ株式会社 昌子 有

ペルーの Anchovy 油

【はじめに】

DHA/EPA に携わっている方なら、どなたもご存知かと思うが、DHA/EPA の主要な原料として、ペルーの Anchovy 油が挙げられる。ところがこのところ、地球温暖化のせいなのか、Anchovy の水揚げが思わしくなく、暫らくは、ペルー政府が設定した漁獲枠が消化されないばかりか、枠が設定されない、即ちスキップされるシーズンも。直近のシーズンでようやく、ほぼ 100% の消化に回復。しかし、肝心の Anchovy 油が、その収率や EPA 含量が、年々低下し、原料としての魅力が、アフリカ物に移っている感じがする。過去に見た、EPA 組成比 20% 以上などと言う代物は、今は幻のようである。そんな状況ではあるが、過去、ペルーへ Anchovy 油の調達に関して訪れたことが有るので、その時のことを思い出しつつ、以下に、覚えている部分だけで恐縮だが、記してみたい。

【ペルーへの道程】

ペルーは、日本に対して、地球の裏側であるため、さすがに遠い。幾通りか行き方は有ろうが、ロサンゼルス、あるいはヒューストンまで、空路 12 時間、さらにそこからリマまで 8 時間。リマには必ず、真夜中に着く。国際空港の周辺は、大変治安が悪いそうで、ホテルまでの 30 分間、由緒正しいタクシーに乗らないと、危ないらしい。

【ペルーの漁業会社】

Anchovy 油は、漁業会社が生産する。ペルーには、数社の大きな漁業会社があるが、日本と違って、ほぼ専ら、Anchovy を漁獲し、そこからミールと油を生産する。生産工場は当然、ペルーの北から南までの沿岸に点在する漁港に設置されている。首都リマから近いところは、車で行くが、都市の郊外は、起伏の有る砂漠が続く、川が流れている周辺以外は、ほとんど緑を見ない荒涼とした景色である。

漁港とセットになった工場は、さすがに専用工場だけあって、効率的な構築と、スキの無い管理が施されている。まず、操業中の漁船は常に、その位置と水揚げ量が把握されている。漁船は、漁港には入港しない。沖合いで停泊し、水揚げされた Anchovy はパイプラインで、海底経由、生産工場に送られる。フィッシュミールや魚油のプラントは、一般的なものだが、Anchovy 受け入れ直後に行なわれる魚体の水洗い工程で、洗浄水にわずかに溶出したタンパク質や油分も回収し、後工程で、ミールや油に戻すと言った、成分を一滴たりとも無駄にしない徹底振りである。出来上がった製品は、品質管理のため、近赤外分析に供される。Anchovy 油では、脂肪酸組成や過酸化物質等規格試験項目の数値が、ほとんど瞬時に提供される。分析装置内に蓄積された、過去の膨大なデータを自動的に参照することによって、正式な試験法で得られた結果と、ほとんど違いが無い。これによって、Anchovy 油はオンタイムで、グレード別の貯蔵用タンクに振り向けられる。

【雑感】

さて、この当たり前のような産業が、将来の何時まで、安定的に続けられるのだろうか。冒頭に記した通り、Anchovy の資源は安泰なのだろうか。安泰だとしても、資源には、政治的な、自然保護的な圧力がかかるかも知れないので、漁獲できないことも考えられる。

別の魚種、即ち、マグロやカツオに目を転じて、同様の心配がある。魚が、プランクトン等微生物中の DHA/EPA を、我々に代わって濃縮してくれているので、魚油は、DHA/EPA 用原料としては極めて有用である。少し言い過ぎかも知れないが、DHA/EPA に関係する学界でも、産業界でも、さらには弊協議会でも、かなりの部分を、魚油に依拠している。

やがては、資源独特の要因に左右されない、微生物発酵による DHA/EPA が、世の中を席捲する時が来るのであろうか。水産資源に関係する会社に身を置いている筆者としては、ユーザーに対して、世界中の誰よりも長く(=何時までも)、そして安定的に、魚油由来の DHA/EPA を供給する使命感に燃えてはいるが。

《幹事会のうごき》 平成 29 年 3 月 16 日(木)15:00~17:00 に一般財団法人日本水産油脂協会新館において平成 28 年度第 11 回幹事会が開催された。

- ・ 設立 20 周年記念配付用として作成している関連情報リストの内容について、幹事に確認してもらい意見を募ることとした。
- ・ 総会講演会講師が決定した旨、事務局より報告があった。
- ・ 平成 28 年度事業報告および平成 29 年度事業計画(案)が幹事会で承認された。